

## ウグイ

(学名: *Tribolodon hakonensis*)

[コイ科 ウグイ亜科 ウグイ属]

ウグイは、沖縄を除くほぼ国内全域に分布しているコイ科の魚で、淡水型と航海型があり、一般によく知られるのは、河川中流を中心に生息する淡水型です。只見町では、只見川と伊南川を中心にその支流にも生息しており、“ハヤ”と呼ばれています。



初夏の産卵期を迎えると、体側に赤い縦条が3条現れ、頭と背面にかけて追星と呼ばれる白い瘤状小突起が現れます。婚姻色が出ると腹が赤くなるため、産卵期のウグイは“セノヨ”や“アカハラ”と呼ばれます。

ただみ・ブナと川のミュージアムで飼育展示しているウグイも、婚姻色が出始めました。この機会に是非、婚姻色に変化したウグイを見に来てください。

また、ウグイは、伝統食の「お平」や「飯鮓(ハヤのナレズシ)」の材料として親しまれています。この、「お平」と「飯鮓(ハヤのナレズシ)」の作り方が載っている“企画展解説シリーズ1 只見の自然を食べる!”も只見町ブナセンターにて好評発売中です!

### 企画展示

#### ○あがりこの生態と人々の関わり

4月27日(土)~7月22日(月)まで

只見町でも見ることでできる“あがりこ”と呼ばれる樹形の樹木は、いったいどのようにして作られるのでしょうか?あがりこが示す人と樹木の関わりについて、写真入りの解説パネルでご紹介いたします。

併せて、ブナセンター講座及び自然観察会の開催を予定しておりますので、是非ご参加ください。

#### ○ブナセンター講座「歴史遺産としてのあがりこ」

2013年6月8日(土) 13:30~15:00 講師:鈴木和次郎(ブナセンター館長)

#### ○自然観察会 梁取「学びの森」と大曾根湿原

2013年6月9日(日) 10:00~12:00

観察地:梁取「学びの森」初夏の大曾根湿原

明和地区センターへ10:00集合

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています



## 山開き情報

### ○要害山

5月12日(日) 午前9時

JR只見駅前広場

〔参考登山時間〕2時間30分

〈主催〉観光まちづくり協会

### ○蒲生岳

6月2日(日) 午前7時30分

蒲生集会施設「雪の里」

〔参考登山時間〕3時間

〈主催〉蒲生活活性化委員会

### ○浅草岳

6月23日(日) 午前5時

JR只見駅前広場

只見駅から無料バスで只見沢登山口

↓山頂↓入叶登山口

(往路は只見駅まで乗合タクシー)

600円)

〔参考登山時間〕9時間

〈共催〉只見町・

只見町観光まちづくり協会

※参加特典として各山とも記念バッジが進呈されます。(数量限定)